

◆ 今週のコメント

- インフルエンザの定点当たり報告数は、20.52(1,334例)で先週(23.71)より減少しました。2月に病原体定点から受け付けた検体から新たにインフルエンザB型が2件検出され、今年に入ってからのも累積数は、A(H3)亜型8例、B型3例となっています。
今シーズンの【速報】インフルエンザ発生状況を下記に掲載しています。
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000071285.html>
- 感染性胃腸炎の定点当たり報告数は、6.63(252例)です。第3週(1月16日～22日)のピーク(11.05)の後、第5週(1月30日～2月5日)以降横ばい状態が続いています。京都市衛生環境研究所で平成24年に受け付けた感染性胃腸炎の検体から、ノロウイルスGⅡ型が31件、ノロウイルスGⅠ型が1件、アデノウイルス2型が2件、ロタウイルスが2件検出されています。
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は、1.82(69例)で先週(0.89)の2倍以上となっています。年齢階級別では1歳以上で報告があり、5歳が10例(14.5%)と最も多く、3歳～8歳が62.3%を占めています。

◆ 今週のトピックス: <後天性免疫不全症候群>

平成23年の後天性免疫不全症候群の年間報告数は、AIDS患者5例、HIV感染者10例の計15例でした。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- 二類:結核 10例(肺結核 3例, その他結核 3例, 潜在性結核感染者 4例)うち喀痰塗抹陽性 4例
【1月以降の累積報告数 49例(肺結核 18例, その他結核 14例, 潜在性結核感染者 17例)うち喀痰塗抹陽性 14例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点65, 小児科定点38, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	20.52	1334
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	6.63	252
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.82	69
	③ 水痘	0.84	32
	④ 突発性発しん	0.34	13
	⑤ 流行性耳下腺炎	0.18	7
眼科	流行性角結膜炎	0.30	3

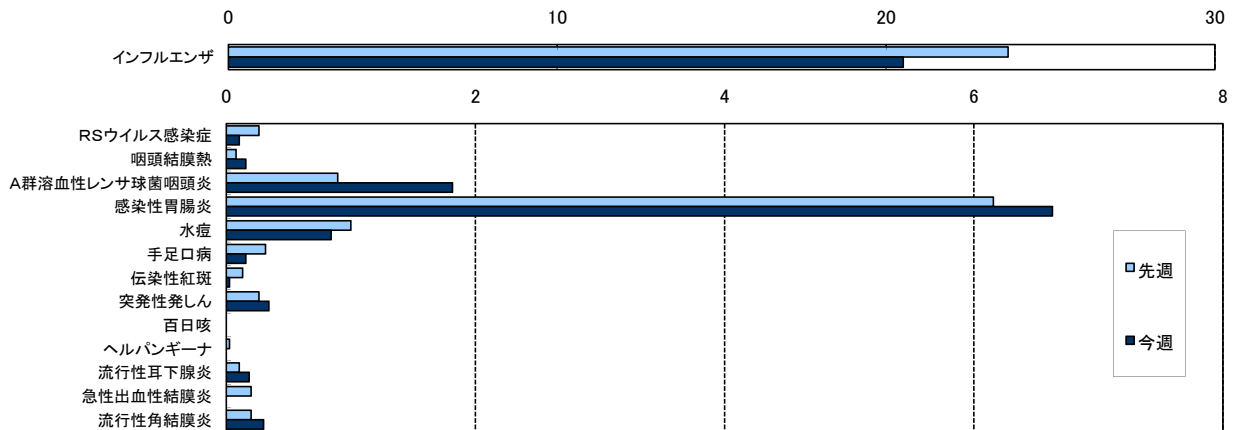
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <後天性免疫不全症候群>

(注)京都市のデータは、平成24年3月1日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

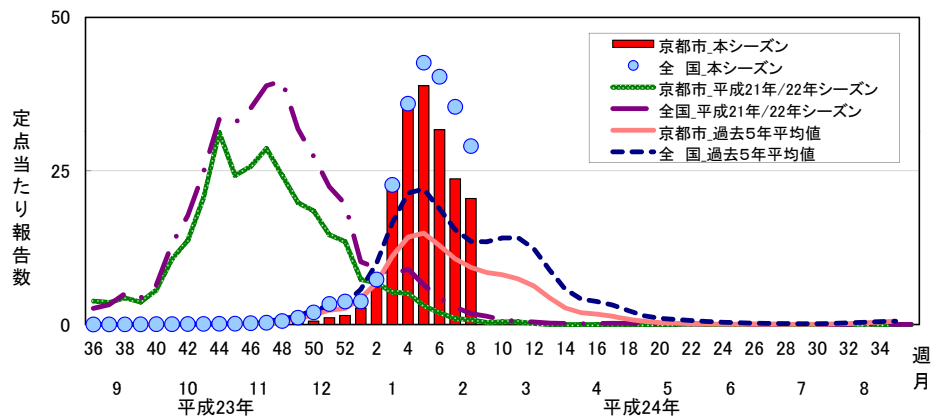
◆ 発生状況の概況グラフ

1 今週(第8週)と先週(第7週)の定点当たり報告数の比較



2 インフルエンザの推移

週	報告数(例)
第4週	2,319
第5週	2,489
第6週	2,029
第7週	1,541
第8週	1,334
累積報告数 (第36週以降)	11,692

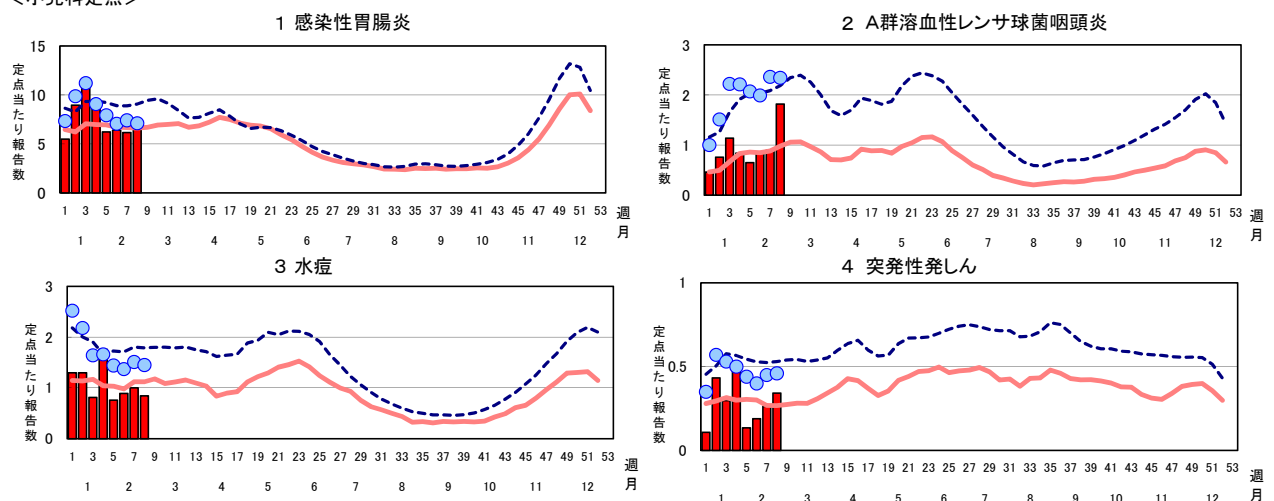


※平成21年/22年シーズンは、新型インフルエンザの発生により、例年と流行傾向が大きく異なるため、別に表記しています。過去5年平均値は、36-52週はH17-H20年及びH22年、1-35週はH18-H21年及びH23年の平均値です。

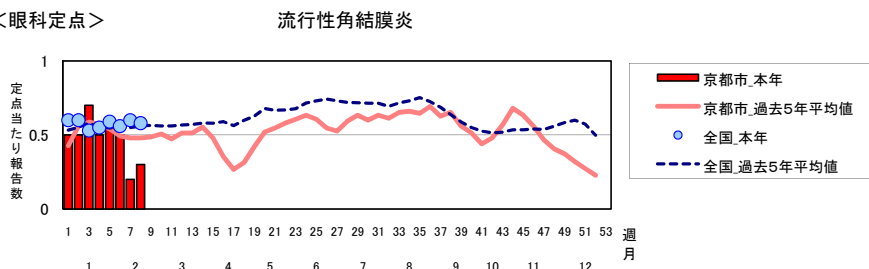
※京都市のインフルエンザ発生状況の詳細を下記に掲載しています。
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000071285.html>

3 主な感染症の定点当たり報告数の推移

<小児科定点>



<眼科定点>



第8週(2月20日～2月26日)トピックス: <後天性免疫不全症候群>

平成23年の後天性免疫不全症候群の年間報告数は、AIDS患者5例、HIV感染者10例の計15例でした。すべて男性で、推定感染地域は、国内10例、国外(タイ)1例、不明4例です。

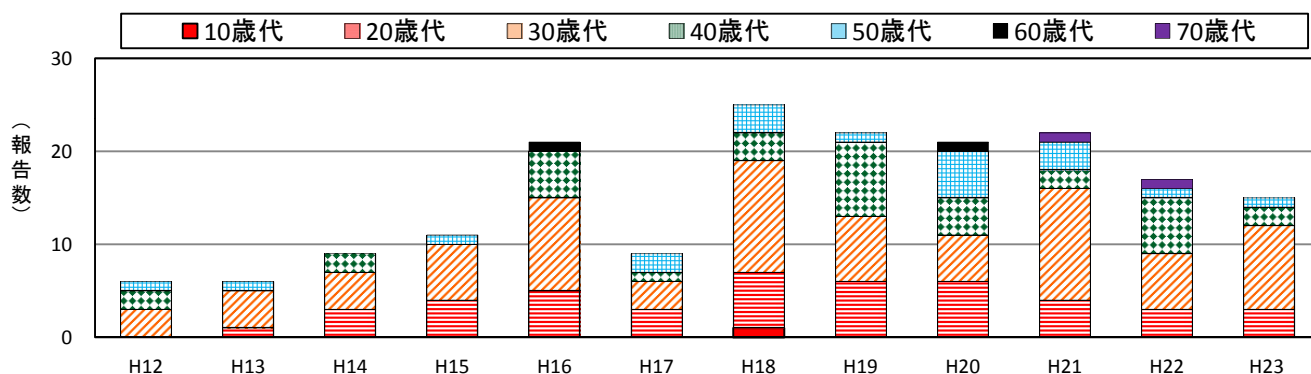
年齢階級別では、後天性免疫不全症候群全体では30歳代が9例(60.0%)で最も多く、AIDS患者は30歳代4例、50歳代1例で、HIV感染者は20歳代3例、30歳代5例、40歳代2例です。

推定感染経路は、性行為感染が12例(異性間6例、同性間5例、不明1例)、不明が3例です。同性間の割合が平成17年以降、40.1～66.7%を占めていましたが、平成23年は33.3%と減っています。

年次別報告数の推移

報告年	総数	AIDS患者	HIV感染者	男	女
平成12年	6	3	3	5	1
平成13年	6	2	4	6	0
平成14年	9	4	5	8	1
平成15年	11	2	9	11	0
平成16年	21	2	19	18	3
平成17年	9	3	6	9	0
平成18年	25	8	17	23	2
平成19年	22	7	15	19	3
平成20年	21	6	15	18	3
平成21年	22	10	12	22	0
平成22年	17	6	11	17	0
平成23年	15	5	10	15	0
総計	184	58	126	171	13

年齢階級別 年次別報告数の推移



推定感染経路別 年次別報告数の推移

